



**日章学園九州国際高等学校校長便り 長月**  
**建学の精神**：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す  
**学園スローガン**：**継続は力なり**  
**学校教育目標**：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。  
 令和5年(2023年)9月1日(金)校長 屋田伸仁



# 深謀遠慮



7月10日に神戸親和大学の親和学園理事長の山根耕平先生が本校を訪問され、大学受験の留学生を前に講演をしていただきました。昨年度に引き続き、2回目の講演です。昨年度は、アンデシュ・ハンセン著の「**運動脳**」という本を紹介され、**学習能力を向上させるためには、歩く、走る等の適度な運動が必要だ**という話をされました。本年度は、榊耕平著「**スマホはどこまで脳を壊すか**」という、ちょっとショッキングな題名の本を紹介されました。榊氏は、前頭前野の脳科学で有名な東北大学の川島隆太先生の門下生です。川島先生が提唱した「**音読や百マス計算が、前頭前野を活性化させ、学習意欲や学力を高める。**」という説は、教育界に大きな影響を与えました。「**スマホはどこまで脳を壊すか**」の本では、スマホ依存がもたらす弊害が次のように書かれています。「**スマホ依存は、成長期の子どもなら脳発達が大きく損なわれ、学習の質が低下し、成人なら不安・抑うつ傾向が高くなる**ことが、最新の脳科学研究で明らかになった。放置すれば、**認知症予備軍であふれる社会が来る。**」そうならないために、「**スマホの使用時間を減らす。オンライン習慣を脱し、対面コミュニケーションを増やす。**」等、提言されています。「**深謀遠慮**」という言葉があります。「**深く考えを巡らし、遠い未来までも見通すこと**」という意味です。榊氏が警鐘を鳴らす「**スマホ依存の弊害**」に真摯に耳を傾け、教育界は今、深謀遠慮する必要があると思いました。

# 人に勝つより、自分に勝て！

9月1日は、本校の開講式です。ほとんどの小・中・高等学校で、2学期始業式が行われます。この夏休み明けの9月は、年間を通して、全国的にいじめや自殺が多いという調査結果があります。夏休み明けで、学校の生活リズムに慣れない、心もからだもだるい、いらいらする、そういうところでいじめは起きやすいのかもしれない。そこで、開講式ではいじめ問題について話しました。

- ① **いじめは人間として絶対に許されない行為である。**
- ② **学校や先生はいじめられた子どもを守る。いじめを見た人は親や先生に知らせる。**
- ③ **いじめは一人で悩まない、苦しまない。人に話す勇気を持って欲しい。**
- ④ **どんなことがあっても、自ら自分の命を絶ってはいけない。**  
**夢や未来、将来の幸せを考え、命を大切にしたい。**



本校では、毎月、学校生活アンケート調査や教育相談週間を実施して、いじめの早期発見、早期解決に努めています。また、毎朝、あいさつ運動をして職員全体で生徒達の登校の様子を見守っています。さて、開校式では、これから、がんばってほしいことも話しました。高校3年生や留学生にとって、いよいよ本番の大学受験、就職試験のシーズンを迎えます。しかし、思ったように学力が伸びないので、不安やあせりが出てきます。また、ライバルや競争相手に勝つことばかり考えて、ストレスが溜まったりします。そんなことでは、本当の意味での自己成長にもつながりません。そこで、「柔道の父」と呼ばれた**嘉納治五郎**の「**人に勝つより、自分に勝て**」という言葉を紹介しました。勝利するとは、自分の心の弱さに打ち克つこと。勝つとは昨日の自分に勝つことで、一步一步、前進することです。これは、スポーツだけでなく、受験生にとっても大切な心構えだと思います。3年生の皆さん、留学生の皆さん、自分に勝利して、ゴールを目指してください。自分に勝ち続けられる力こそ、「**継続は力なり**」でぜひ獲得したい本当の価値あるものだと思います。

